

千葉県中核地域生活支援センターニュースレター

ちばの地域福祉

自閉症協会と中核センター

千葉県自閉症協会会長
旭中央病院脳神経外科部長
大屋 滋

千葉県地域福祉支援計画（「福祉力！」計画）策定のための最初のビッグイベントとして、2003年5月27日、旭中央病院で第1回タウンミーティングが開催されました。堂本知事や行政の説明の後、私が名誉あるトップバッターで意見を述べる機会をいただきました。

私は千葉県が定めていた地域福祉を考えるための「5つの疑問」の4番目、「理不尽な理由で、辛く悲しい思いをしている人はいないか」という点を取り上げました。自閉症は周囲の人との社会的な関係に根本的な困難さのある脳機能障害であり、非常にわかりにくく、しばしば周囲の人から誤解を受けます。本人から見るとそれなりに理由があるのに、周囲の人からは問題行動と見なされたり、結果的に理不尽な扱いを受け、時として権利を侵害され、悲しい思いをすることがとても多いという現状を知ってもらいたかったのです。

その後、県内のいろいろな会議で様々な人がこの「疑問」を取り上げました。私は自閉症の人に限らずいろいろな障害のある人が、周囲の人の無理解ゆえに辛い思いをしていることを知りました。中核地域生活支援センターは、まさにこの「疑問」を本人の立場に立って共に考えるという使命を持っています。障害があってもなくても、巻き込まれている問題に対して、表面的な現象のみならず、当事者が持っている特性と周囲の環境の両面から因子を一つ一つ考えながら、包括的に解決する道筋をつける。この数年間、中核地域生活支援センターはその作業を粛々とこなし、実績を積み上げています。自閉症の人たちにとって、そしてすべての人にとって大切な機関となっています。今後も活躍を期待しております。



ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

[睦沢町] 福祉と司法がつながる会

～福祉関係者と司法関係者で困った問題を打破しよう！～

日時：7月23日（金）13時30分～ 基調講演、パネルディスカッション

7月24日（土）10時00分～ グループワーク

場所：睦沢町中央公民館（長生郡睦沢町下之郷 1654 番地1）

参加費：無料

お問い合わせ：中核地域生活支援センター長生ひなた 0475-55-7859

とうがね司法書士事務所 0475-53-3200

[芝山町] 平成22年度 第2回 山武、東金、横芝光、芝山地区 地域集会

社会福祉士の方（所属地区不問）・社会福祉士を目指している方・その他、
社会福祉に興味のある方…皆様お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

日時：平成22年8月28日（土）17:00～19:00

場所：芝山中央公民館（芝山町小池982 0479-77-0066）

内容：自己紹介、情報交換など。終了後は周辺で懇親会を企画予定です。（別途費用）

費用：お茶代、印刷代として100円

備考：名刺を必ずご持参のうえご参加ください

★ご出席いただける方はお名前とご連絡先を下記の連絡先までご連絡ください。

当日の飛び込み参加も大歓迎です。

問い合わせ：西沢（世話人、山武町在住）まで

mail：g1964739@yahoo.co.jp 携帯：090-5790-8858



ちば・元気印！

～こんなところ、見つけた～

★県内でユニークな活動を実践している個人・団体・事業所を紹介するコーナーです★

今回は、長生村で重症心身障害児者に対するサービスを展開する「母里子ネット」です。
代表の汐田千恵子さんは、娘の望さんが重症心身障害児としてこの世に生を受けました。

「親の立場だけだったのがいつしか福祉の世界に飛び込んでいました。きつともって生まれた性格からなんでしょうね。」

『母里子ネット』と書いて、『もりこネット』と読みます。ある日、ラジオで岐阜の方にある源泉で、『もりこ』というのがあると聞き、ぜひ入ってみたいと思いました。その『もりこ』はどのような漢字をあてるのか分かりませんが、団体に名前を付ける時には漢字のもつ意味にこだわり、『母里子』とつけました。広く一般に読めなくても、『母里子』を必要とする一部の人達に覚えてもらいたいという願いを込めました。

「この仕事をしていて思うのは、わたしは人に助けてもらっているなあと言う事。また自分自身も頼み上手と、頼まれ上手でいってこいなんですね。困難な事ほど『立ち向かってやる』という意欲がわいて、逆にパワーをもらっています。特に幼児の相談はパワー全開になりますね。NICUからの退院促進などがめだつようになってきたように思います。病院から自宅への生活は不安そのものです。無菌室から雑菌の世の中へでるわけで、こどもを守る親の気持ちは計り知れません。」

そんな汐田さんが、母里子ネットを運営していくうえで心がけている事があります。

重症心身障害児者にとっての自立とは何を指すのだろうか？

その答えは生きることそのものであるとわたしは考える。

母里子ネットの存在する意味は、

『生まれてきたからには、何かで線引きするような事をしない、

その人を受け止め、その人の生活を受け入れる事が大きな意味を持つ。』

ともすれば、短い生涯かもしれない。

でもよかったと思えるように踏ん張ろう。



今日もみんなでおいしいお昼♪

事業所名 ■ 母里子ネット（もりこネット）

所在地 ■ 〒299-4332 千葉県長生郡長生村金田 2591-9

サービスの種類 ■ 生活介護（デイサポートセンター母里子）

児童デイサービス（児童デイサービス母里子クラブ）

居宅介護事業所（居宅介護事業所母里子ネット）

TEL/FAX ■ 0475-47-2439 MAIL ■ moriko@bz01.plala.or.jp

その他に、茂原市で共同生活介護事業所（ケアホーム母里子）もやっています。

ご存知ですか？中核地域生活支援センター

今回は、中核地域生活支援センターの活動の3本柱である

①生活の総合相談

②権利擁護活動

③地域づくり（地域総合コーディネート）

について、それぞれ具体的にどのようなご相談が寄せられているのか、ご紹介したいと思います。

①生活の総合相談

- ・高齢者の生活苦による自己破産及び生活保護受給支援、障害を持つ同居家族の生活支援
- ・外国人世帯（日本国籍）における、借金返済、今後の生活について
- ・債務返済困難な自営業の世帯と今後の生活について
- ・障害のある人に対する刑務所を出た後の生活支援
- ・特別支援学校より、学生の対応についての連携依頼



②権利擁護活動

- ・高齢者が内縁の配偶者からの財産搾取に対する支援
- ・高齢者福祉施設の不適切な対応について
- ・身体障害者の職場での差別について
- ・ひとつの家庭内で同時に起きているDVと児童虐待に対する包括的な家庭支援

③地域づくり（地域総合コーディネート）

- ・NPOやグループホームの立ち上げについての相談
- ・ひとつのケースを通じて立ち上がったネットワークによる任意のDV／児童虐待の勉強会の事務局
- ・障害児を対象とした地域療育システム確保のための活動支援
- ・引きこもりの方を対象とした居場所の確保およびプログラム活動

※ここに紹介したのは、各センターの行っている活動の一例であり、全てのセンターで同じ活動が行われているとは限りません。

「こんな事で相談して大丈夫かしら？」と悩まれる前に、ぜひお近くの中核センターをご利用ください。

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：すけっと（印旛圏域）佐倉市鎌木仲田町9-3 TEL:043-483-3718 FAX:043-483-3719

編集：海匠ネットワーク（海匠圏域）旭市イの1775 TEL:0479-60-2578 FAX:0479-60-2579

※内容についてのお問い合わせは、海匠ネットワーク（担当：くらた 蔵田）までお願いします。